

主体的に学ぶ姿を目指して ～「めあて」についてのご提案～

○言葉の整理について

○主体的に学ぶ姿を目指すめあての提示について

今後の取組について 「導入の工夫例」

過程	課程	教師がすること	児童生徒がすること
導入（10分程度） 【子供が課題をつかむ】	問題、話題、資料の提示	○意味の確認	・叙述や資料などをもとに考える。
	↓	↓ ○既習事項を確認する	・前時との違いを確認（少し困らせる） 「このままではできない・・・」
	↓	↓ ○気づき（つぶやき）を引き出す	・よい気づきを聞き漏らさない 「○○すれば・・・」「△△になってる・・・」
	↓	↓ ○広げる（1人→ペア→全体）	・全体に投げかける言葉を準備する 「どういうこと？」 「□□さんの言った意味わかる？」
	解決の見通しの共有 ≪めあて≫	↓ ○解決方法の確認	・子供の言葉を使って全体で確認

○○に気をつけて、△△を明らかにしよう。

○○を使って、△△を求めよう。

今後の取組について 「導入の工夫例（国語）」

兵十の
気持ち
は……？



なんだろう？

④
兵十が知ったこ
とは？
そのときの兵十
の気持ちは？

この場面で、
兵十が知ったこ
とは何かかな？
そのときの兵十
の気持ちは？



今後の取組について 「導入の工夫例（国語）」

ごんの気持ち
が、変わってき
たな。



どこを読んで
考えたらい
かな？

④

兵十が知ったこ
とは？
そのときの兵十
の気持ちは？

兵十の気持ちも
変わってきたな。



気持ちを表
す言葉は……

今後の取組について 「導入の工夫例（国語）」

兵十の言動や
様子のところ
をもう一度読
んでみよう。

これまでのノートを
見たらできそう。

④兵十の気持ちをも、気持ち
を表す言葉や情景から考え
よう。



みんなの言葉を
合わせると、
今日のめあては
こうなるかな。

